

産業技術総合研究所 ナノスピントロニクス研究センター

平成25年度 研究ユニット評価委員会 議事要旨

1. 日時：平成25年10月22日(火) 10:00-15:50

2. 場所：独立行政法人 産業技術総合研究所 つくば本部・情報技術共同研究棟 1階ネットワーク会議室

3. 議事

- | | |
|--------------------------------------|-----------------------|
| (1)開会挨拶 | 島田 広道 理事・評価部 部長 |
| (2)委員紹介、資料確認 | 川田正晃 評価部 研究評価推進室 総括主幹 |
| (3)研究ユニット評価 ー基本的考え方及び実施内容・方法ー | 遠藤 秀典 評価部 次長 |
| (4)ユニットによる説明(質疑含む)(議事進行:松山 公秀 評価委員長) | 湯浅 新治 研究センター長 他 |
| (5)総合討論、委員討議、講評(議事進行:松山 公秀 評価委員長) | |
| (6)閉会挨拶 | 島田 広道 理事・評価部 部長 |

4. 議事概要

(1)研究ユニット評価概要説明

資料4に基づき、評価部より研究ユニット評価の概要について説明が行われた。

(2)ナノスピントロニクス研究センターの説明と質疑応答

資料5及び研究センターからの説明資料に基づき、「研究ユニット全体のシナリオ・ロードマップ」「ユニット戦略課題」「イノベーション推進への取り組み」「研究ユニット運営の取り組み」について説明が行われ、評価委員による質疑応答が行われた。

「研究ユニット全体のシナリオ・ロードマップ」に関しては、基礎研究から実用化に近い研究まで幅広い研究開発についてなどの質疑が行われた。「ユニット戦略課題」に関しては、競合技術に対する優位性や波及効果などについて質疑が行われた。「イノベーション推進への取り組み」に関しては、内外機関との連携や知的財産戦略などについて質疑が行われた。「研究ユニット運営の取り組み」に関しては、チーム間連携および人材育成についてなどの質疑が行われた。

(3)全体を通しての質疑応答

各評価項目の説明の部分で十分に質疑応答がなされたため、委員長の意向により、総合討論の時間を評価委員討議時間にあてることとした。

(4)委員討議

今回の評価に関して、評価委員による討議が行われた。

(5)講評

評価委員長よりナノスピントロニクス研究センターの各課題への取り組みおよび成果に対する講評が行われた。また各評価委員より、研究センターの成果の発信、産業界との関わり方、今後のセンターの在り方について講評があった。

5. 出席者

[外部評価委員]

松山 公秀	九州大学大学院システム情報科学研究院	教授 (評価委員長)
佐藤 勝昭	独立行政法人科学技術振興機構 総務部	研究広報主監
城石 芳博	株式会社日立製作所 研究開発本部	主管研究長
田中 雅明	東京大学大学院 工学系研究科	教授

[内部評価委員]

挾間 壽文 評価部 首席評価役
阿部 修治 評価部 首席評価役

[研究ユニット ナノスピントロニクス研究センター]

湯浅 新治 研究センター長
福島 章雄 副研究センター長
Ronald Jansen 首席研究員
久保田 均 金属スピントロニクスチーム長
齋藤 秀和 半導体スピントロニクスチーム長
今村 裕志 理論チーム長
Vadym Zayets 半導体スピントロニクスチーム 主任研究員
薬師寺 啓 金属スピントロニクスチーム 主任研究員
野崎 隆行 金属スピントロニクスチーム 主任研究員
甲野藤 真 金属スピントロニクスチーム 主任研究員

[研究統括、分野企画室長]

金山 敏彦 情報通信・エレクトロニクス分野 理事・研究統括
安田 哲二 情報通信・エレクトロニクス分野 研究企画室長

[監事]

伊東 一明 監事

[オブザーバー]

安藤 功兒 フェロー
羽田 夏希 企画本部 組織企画室
鎌田 あゆ子 第二研究業務推進部

[評価部/事務局]

島田 広道 理事・評価部長
遠藤 秀典 次長
高橋 正春 審議役
中村 徳幸 審議役
中田 功一 評価企画室長
山口 政史 主査
秋道 斉 研究評価推進室長
川田 正晃 総括主幹
松山 重倫 総括主幹

6. 配布資料

資料1: 議事次第
資料2: 出席予定者
資料3: 座席表
資料4: 研究ユニット評価 ー基本的考え方及び実施内容・方法ー
資料5: 研究ユニット評価資料
研究ユニットプレゼンテーション資料

研究ユニット評価用紙(評価委員のみ)